



黒木の子



薩摩川内市立黒木小学校

黒木小 ドンマイドンマイ みんななかよし 世界の子供

紫陽花号 R元. 6. 17

なかよく

校長 鶴丸 修一



令和元年の6月11日は入梅(梅雨入り)でした、と書くと「5月31日に入っていますよ」と言われることと思います。が、これは暦の上での梅雨入りなのです。この日付は太陽の年周運動(地球の公転)の特定の位置によって決めたものだそうです。ですから、現在、気象庁が発表している「梅雨入り」とは意味合いが異なります。昔から梅雨は、農業に必要な「恵みの雨」と同時に「災害をもたらす雨」でもありました。子供たちにとっては、外で元気よく遊びたくとも遊べない、そんな季節を迎えます。このような時にこそ、なかよく遊ぶ工夫が必要だと思います。雨で遊べないことから、元気が有り余って争いになることもあります。

さて、「なかよく」あるいは「なかよし」という言葉は、多くの小学校の教育目標、あるいは目指す児童像、校訓に必ずと言っていいほど入っています。なぜでしょう。

最近、インターネットの書き込みで「無理してなかよくする必要はない」「なかよしを強制されるのはいやだ」という趣旨の書き込みが見られました。また、なかよくは大切だが強制されるといじめにつながるという主張がありました。このような意見は、なかよくできるように努力した経験を経ての言葉と考えられますが、この経験が大切です。幼いうちに自分のことを分かってもらうにはどうすればいいのか。自分の思いをどのようにしたら伝えることができるのか。お互いを分かった時に、知った時に、尊重や信頼、相互理解という関係が構築されることでしょう。

人間関係の始まりは母と子の関係です。「関係」というより始まりは一方的なもので、子は母に依存していて、一体という状態です。母親としては生まれたばかりの子供は自分の一部として抱きしめて育てていくこととなります。ここが全ての人間関係の根本となると思います。

この一体という関係を崩そうと入り込んでくるものが「父親」です。子供は父親を通して「他者」の存在を感じるようになります。例えば、母親が子供を抱きしめている時、仕事から帰宅した父親がほほを寄せようとすると、子供はいやいやをして、母の方に顔を向けます。また、父親が母親に触れようとすると子供はそれを阻止しようとするしぐさを見せることがあります。子供は父親の存在で「他者」を知ることになります。

成長していく過程で、子供は他者と接していくためには、一つの規範、ルールを守ることを父親を通して知っていくのです。

このことは、家族の中での母親と父親の役割にも繋がります。母親の役割としては「包含する」ことが主な機能で、包み込む平等性を持っています。これに対して父親の役割は一体となる母子の関係を「断ち切る」機能にその特性があります。どちらか一方ではなくお互いに補完することによって、子供のバランスのとれた成長が期待できるのです。

日本では、一般的に目立つことを良いとしない傾向があります。個性がない、自分のことを考えないというのではなく、一体感を優先させながら自分の個性を表すことを考えます。これに対しヨーロッパの場合は、個を優先した後、個人と個人の間を確立しようという考え方です。日本と順序が異なるのです。大切なことは、合理的そして論理的に考えた自分の考えを相手が理解できるように伝えることなのです。このようにできることが「なかよく」「なかよし」になるうえでの基礎となるのです。方法はいくらでもあるのかもしれませんが、それぞれのご家庭で我が子がよりよく生きるにはどうしたらよいかと、いろいろと話し合うことで、我が子が話し合いで仲良くなるための方法を学んでいくこととなります。

家族は人間関係の基礎です。

時代に合った家族を目指すのではなく、我が子がどのように育つのかを考えながら自分の家族の在り方を考えましょう。毎年、一家庭一家訓を書いただいています。「我が家のいいとこさがし」をしながら我が子の成長を感じ取っていただけたらと考えています。

= 7月の主な行事予定 =

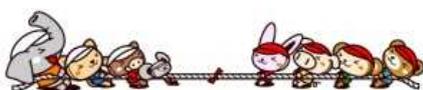
- 2日(火)移動図書(返本) 
小中一貫ボランティア交流
- 4日(水)校内水泳大会, 学期末PTA
学校保健委員会(救命救急法)
PTA全体会
- 10日(水)着衣水泳(予定)
- 13日(土)中期ふるコミュ集合学習
- 17日(水)異年齢交流給食
- 19日(金)終業式, 清掃活動, 一斉下校
(給食あり)

= 読み聞かせ大好き! =

長年続いている保護者による親子読書(読み聞かせ)。今年度最初の親子読書が6月13日(木)にありました。本の題名は「オレ、カエルやめるや」。おもしろいお話で、子供たちは目を輝かせてじっとお話の世界に入っていきのがわかりました。
読み聞かせていいなと改めて感じたひとときでした。



↑ 親子読書の様子



= よく頑張りました! = 市小学校綱引き大会

7日(金)は薩摩川内市小学校綱引き大会でした。6年生はこの日のために4月末から一か月半の間、練習を続けてきました。対戦は2試合とも甕島のチームの予定でしたが、悪天候のため船が欠航になり、急遽、城上小と副田小に変更になりました。結果は、2試合とも最初の一本を黒木が取り、後の二本を取られて残念ながら1対2で負けてしまいました。負けてしまいはしましたが、クラスみんなで声を掛け合い、基礎トレーニングやフォームチェックを行いながら、練習に励んできた子供たちはとても立派でした。大きな拍手を送りたいです。お忙しい中、会場で応援をしてくださった保護者の皆様、ご声援ありがとうございました。



↑ 懸命に綱を引く子供たち

= 5年生宿泊学習へ、4年生甕アイランドウォッチングへ =

3日(月)~5日(水)に5年生が少年自然の家へ、6日(木)に4年生が甕島へ行きました。どちらも学校では学べない貴重な体験ができました。



宿泊学習を通して、友達と協力することを学びました。友達もたくさんできたし、とてもよかったです。



ぼくは新しい友だちもできていっぱい遊びました。またいつか遠足で会ってもっと友だちを作っているいろいろなことをしゃべりたいです。

キッズ隊ガーデン作業

黒木小学校の子供たちの別名は「**黒木地域興しキッズ隊**」!! 8日(土)にキッズ隊みんなで、会田団地入口のキッズガーデンにマリーゴールド、サルビア、千日紅を植えました。このキッズガーデンの花植えは平成24年から始まり、現在に至っています。
お近くを通られた時にぜひご覧ください。



↑ 1年生に植え方を教える6年生